

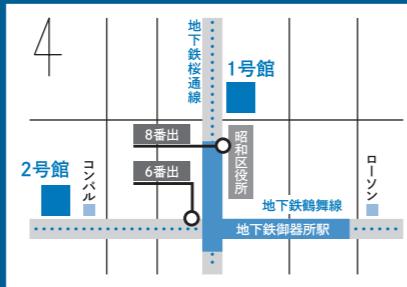


<1号館>名古屋駅より名古屋市営地下鉄 桜通線・鶴舞線
御器所駅下車…8番出口 徒歩1分
<2号館>名古屋駅より名古屋市営地下鉄 桜通線・鶴舞線
御器所駅下車…6番出口 徒歩4分



詳細はwebサイトを
ご覧ください

<http://www.chubugakki.ac.jp/>



公式アプリをダウンロード

| Google Play | | Apple Store |



CHUBU TECHNICAL ACADEMY OF MUSICAL INSTRUMENTS

CURRICULUM BOOK

カリキュラムブック



学校法人中部学園
中部楽器技術専門学校

教育理念

時代の変化に順応し、
音楽・楽器業界で役立つ人材を育成する

校訓



— 技至誠

[根気・努力・忍耐]

「一技」は一つひとつの技、「至誠」はきわめて誠実なことを意味します。より優れた楽器技術者をめざすため、精一杯の真心・誠意をもって、丁寧に技を磨いていこう。そんな確固たる志を、私たちはこの言葉に込めています。飽くなき向上心とたゆまぬ忍耐力で自分自身を磨きあげた者こそが、周囲から信頼される真のプロフェッショナルとなれるのです。



AP

[アドミッションポリシー]

入学者受入れの方針

本校校訓「一技至誠」の精神を重要視し、実現のためにはひたむきな努力を惜しまない意欲的な人物。

音楽・楽器への情熱があり、音楽文化とその歴史、楽器の特性に強い関心と探求心をもつ人物。

CP

[カリキュラムポリシー]

教育課程編成・実施の方針

ディプロマポリシーに掲げる能力を身につけるため、教育課程として必要な科目を体系的に編成し、実践的なカリキュラムにより授業を行う。

DP

[ディプロマポリシー]

学位授与の方針

学則の規定に則して、所定の課程を修了し必要単位を修得した上で、各学科が求める能力を備えた学生に対して、卒業の認定及び専門士の称号を授与する。

CONTENTS

音楽サービス創造学科

P4

ピアノ調律科

P6

管楽器リペア科

P8

ギタークラフト・リペア科

P10

音楽サービス創造学科 [3年制]

アドミッションポリシー

音楽サービス創造学科では、本校校訓「一技至誠」の精神を重要視し、実現のためにはひたむきな努力を惜しまない意欲的な人物を求める。音楽・楽器への情熱があり、音楽文化とその歴史、楽器の特性に強い関心と探求心を持っており、音楽業界に関わる最先端の知識と、舞台音響に関わる技術を学びたいという人物を求める。

カリキュラムポリシー

音楽サービス創造学科では、ディプロマポリシーに掲げる能力を身につけるため、教育課程として必要な科目を体系的に編成し、実践的な教育プログラムにより授業を行う。

1. 楽器全般の基礎知識、取り扱いやメンテナンス方法、演奏方法を学ぶ。
2. 舞台の基礎知識や音響機器の操作方法、企画から本番までの演奏会の成り立ちを学ぶ。
3. 進路や適性、興味に応じてコースに分かれ、より専門的な楽器・舞台に関する技術を学ぶ。
4. 幅広い音楽ジャンルの有名曲、作曲家やミュージシャン、総合芸術に関する知識を学ぶ。
5. 社会人としての人間力や常識を備えた業界人として、業界で活躍するための術を学ぶ。

ディプロマポリシー

音楽サービス創造学科では、学則の規定に則して、所定の課程を修了し必要単位を修得した上で、以下のような能力を備えた学生に対して、卒業の認定及び専門士の称号を授与する。

1. 楽器全般の基礎知識、取り扱いやメンテナンス方法、演奏方法が身についている。
2. 舞台の基礎知識や音響機器の操作方法、企画から本番までの演奏会の成り立ちについての知識が身についている。
3. 進路や適性、興味に応じてコースに分かれ、より専門的な楽器・舞台に関する技術が身についている。
4. 幅広い音楽ジャンルの有名曲、作曲家やミュージシャン、総合芸術に関する知識が身についている。
5. 社会人としての人間力や常識を備えた業界人として、業界で活躍する能力が身についている。



科目名	この科目的到達目標
鍵盤楽器 基礎・応用	ピアノの歴史、メーカー、構造、メンテナンス方法、演奏家の知識に裏付けられた商品説明力が身についている。加えて、アップライトピアノの中音ユニゾン合わせ、部品の脱着や調整、部品交換などの技術が身についている。
管楽器 基礎・応用	管楽器の歴史、種類、メーカー、構造、メンテナンス方法、演奏家の知識に裏付けられた商品説明力が身についている。加えて、メンテナンス、クリーニング、楽器の分解組立や木管楽器のコルク交換の基本的な修理技術が身についている。
ギター 基礎・応用	ギターの歴史、種類、メーカー、構造、メンテナンス、修理方法の知識に裏付けられた商品説明力や修理の提案力が身についている。加えて、構造を理解し、調整する技術が身についている。
舞台音響技術 基礎・応用	ホールの歴史や種類、音響機器や舞台設営に関する知識に裏付けられたホール管理や音響機材の企画提案力が身についている。加えて、音楽教室の発表会などの小規模な音響オペレーションの技術が身についている。
バイオリン 基礎・応用	バイオリンの構造、歴史や製作者および基本的な修理やメンテナンス方法の知識を備え、基本的な修理やセットアップおよびメンテナンスをする技術が身についている。
小物楽器	教育楽器や民族楽器の種類、歴史、構造、メンテナンス方法の知識に裏付けられた商品説明力が身についている。
打楽器	打楽器の種類、構造、メンテナンスやチューニング方法の知識に裏付けられた商品説明力が身についている。
電子楽器	電子楽器および周辺機器の種類や発展史、DTMでの音楽制作の知識に裏付けられた商品説明力が身についている。
クラフト技術	各種工具の取り扱い方法や検品能力が身についており、基礎的な作業を行なう上で必要とされる技術力が身についている。
楽器演奏 基礎・応用	弦楽器および管楽器の演奏技術の知識があり、ウクレレとリード楽器の基本的な奏法が身についている。
コンサート制作 基礎	演奏会や音楽イベント業務の一連の流れを理解し、コンサート制作会社や楽器店などで必要とされる準備や運営力が身についている。
楽典	楽譜の販売業務、演奏者への奏法のアプローチなど、ユーザーのニーズに合った提案力が身についている。加えて、舞台業界でリーディングシートに沿って進行する読譜力が身についている。
音楽概論 基礎・応用	幅広いジャンルの曲や作曲家、歴史、音楽の種類や地域性を理解し、店舗において必要とされる音楽知識が身についている。
ビジネス コミュニケーション	学びに向かう力や人間性などを備え、あらゆるビジネスシーンに適応するコミュニケーションスキルやビジネスマナーが身についている。
ビジネス基礎	「経済」「流通」「企業」を手掛かりに今日のビジネス活動の特徴を理解し、広い視野で社会を捉える基礎が身についている。
音楽産業論	音楽・楽器業界の構造、成り立ち、その変遷を理解し、今日の主要業種の取り組みなどの幅広い知識が身についている。
リテールマーケティング	店舗において必要とされている運営方法を理解し、効率的な店舗運営や他店舗との競争を優位にする方法論が身についている。
インターン	企業などで実施訓練を行い、就職後に必要とされる実践力が身についている。加えて、仕事や企業に対する理解を深め、自己の適性を把握する力が身についている。
2年次後期からの選択コース科目	
ピアノ調律コース ピアノ調律 発展	アップライトピアノを、120分間で4Hz変更の調律技術が身についている。 加えて、アップライトピアノの整調工程や張弦、主要部品の交換修理や訪問調律に対応する技術が身についている。
管楽器リペアコース 管楽器リペア 発展	クラリネット、フルートの全タンボ交換及びフェルト、コルク交換の技術が身についている。加えて、サクソフォンと金管楽器の基本的な修理や学校販売業務に対応する技術が身についている。
舞台・ギターリペアコース 舞台・ギターリペア 発展	舞台機器や音響機器に関する作業の目的や手順、注意点を理解し、中規模編成の音響オペレーションをする力が身についている。加えて、リユース業で必要とされているギターリペア技術が身についている。
3年次 任意選択科目	
バイオリン毛替え実習	工具の取り扱いや治具の製作などの木工作業の知識に裏付けられた弓の毛替え技術が身についている。
音楽研究	世の中と音楽との関わり、音楽の有用性やこれからの音楽のあり方などについて考察する知識と思考、判断力が身についている。
音楽著作権	音楽ビジネスに関わる著作権の基礎知識を備え、著作物の正しい利用方法を判断する力が身についている。
音楽健康心理学	音楽の心理的、生理的影響についての知識をもとに、音楽とエクササイズを使った実践的なプログラムを構築する力が身についている。
コンサート制作応用	演奏会や音楽イベントの企画を立案する力が身についている。加えて、企画立案や運営を計画的にする力が身についている。
経営戦略思考	目的ごとにフレームワークを使い分け、課題を解決していく方法論が身についている。

アドミッションポリシー

ピアノ調律科では、本校校訓「一技至誠」の精神を重要視し、実現のためにはひたむきな努力を惜しまない意欲的な人物を求める。音楽・楽器への情熱があり、音楽文化とその歴史、楽器の特性に強い関心と探求心を持っており、調律師になりたいという強い気持ちはともに、「ピアノ調律技能士」の資格取得を目指す意思がある人物を求める。

カリキュラムポリシー

ピアノ調律科では、ディプロマポリシーに掲げる能力を身につけるため、教育課程として必要な科目を体系的に編成し、実践的な教育プログラムにより授業を行う。

- 1.アップライトピアノの調律、整調、修理技術を学ぶ。
- 2.グランドピアノの調律、整調、修理技術を学ぶ。
- 3.楽器全般の基礎知識や業界のビジネス知識を学ぶ。
- 4.作曲家やピアニスト、さらには歴史背景などの音楽文化の知識を学ぶ。
- 5.社会人としての人間力や常識を備えた技術者として、業界で活躍するための術を学ぶ。

ディプロマポリシー

ピアノ調律科では、学則の規定に則りて、所定の課程を修了し必要単位を修得した上で、以下のような能力を備えた学生に対して、卒業の認定及び専門士の称号を授与する。

- 1.アップライトピアノの調律、整調、修理技術が身についている。
- 2.グランドピアノの調律、整調、修理技術が身についている。
- 3.楽器全般の基礎知識や業界のビジネス知識が身についている。
- 4.作曲家やピアニスト、さらには歴史背景などの音楽文化の知識が身についている。
- 5.社会人としての人間力や常識を備えた技術者として、業界で活躍できる能力が身についている。

1年次

前期

後期

到達目標

国家検定「ピアノ調律技能士3級」受検レベルの知識・技術が身についている。

調律理論

アップライトピアノ調律 基礎

整調理論 基礎

アップライトピアノ整調 基礎

修理理論 基礎

修理 基礎

ピアノ演奏 基礎

楽器知識

音楽教養 基礎

音楽美学 基礎

業界ビジネス 基礎

ビジネスコミュニケーション

2年次

前期

後期

到達目標

国家検定「ピアノ調律技能士3級」合格及び「ピアノ調律技能士2級」受検レベルの知識・技術が身についている。

アップライトピアノ調律 応用

整調理論 応用

アップライトピアノ整調 応用

修理理論 応用

修理 応用

総合実践力 応用

グランドピアノ調律

グランドピアノ整調

ピアノ演奏 応用

音楽教養 応用

音楽美学 応用

業界ビジネス 応用

インターン

科目名

この科目の到達目標

調律理論

音波の基礎知識、音階と音響知識を理解し、精度の高い調律作業を行える知識が身についている。

アップライトピアノ 調律 基礎・応用

120分間で4Hz変更の基本的な調律技術が身についた上で、各々90分間で4Hzと2Hz変更の調律を行える技術が身についている。

グランドピアノ 調律

90分以内で調律を行える技術が身についている。

整調理論 基礎・応用

アップライトピアノとグランドピアノの構造を理解し、精度の高い整調作業を行える知識が身についている。

アップライトピアノ 整調 基礎・応用

40分間で1オクターブ整調を行える技術が身についている。加えて、必要とされている全ての整調作業を行える技術が身についている。

修理理論 基礎・応用

部品の素材やその役割などの知識に裏付けられた理論によって、部品交換と加工の手順を導き出す判断力が身についている。

修理 基礎・応用

アップライトピアノの1鍵を構成している各パートの交換技術が身についている。加えて、ピアノ1台のクリーニング作業を行える技術が身についている。

総合実践力 応用

商品知識、小物知識に裏付けられた商品説明力を活かし、訪問調律などに応用する力が身についている。

総合実践力 発展

ピアノの状態を診断する力が身についている。加えて、そのピアノに必要とされる調整や修理を施す技術が身についている。

ピアノ演奏 基礎・応用

アルペジオ、半音階などの理論に裏付けられた知識力を活かし、調整後のサウンドチェックを行える演奏力が身についている。

楽器知識

ザックスの楽器5分類をもとに、楽器の名称と特徴を理解し、歴史的な背景とともに楽器の変遷などの教養が身についている。

音楽教養 基礎・応用

基本的な読譜力が身についている。加えて、クラシックにおける代表的な作曲家やその作品に対する深い知識が身についている。

音楽美学 基礎・応用

オペラの知識に裏付けられた作品の説明力を活かし、オペラの楽しみ方を提案する力が身についている。

業界ビジネス 基礎・応用

ピアノ業界を取り巻く環境や構造、業種などの深い知識が身についている。加えて、調律師として必要とされる業務を実行する力が身についている。

ビジネスコミュニケーション

学びに向かう力や人間性などを備え、あらゆるビジネスシーンに適応するコミュニケーションスキルやビジネスマナーが身についている。

ビジネス基礎

「経済」「流通」「企業」を手掛かりに今日のビジネス活動の特徴を理解し、広い視野で社会を捉える基礎が身についている。

インターン

企業などで実施訓練を行い、就職後に必要とされる実践力が身についている。加えて、仕事や企業に対する理解を深め、自己の適性を把握する力が身についている。

管楽器リペア科 [2年制]

アドミッションポリシー

管楽器リペア科では、本校校訓「一技至誠」の精神を重視し、実現のためにはひたむきな努力を惜しまない意欲的な人物を求める。
音楽・楽器への情熱があり、音楽文化とその歴史、楽器の特性に強い関心と探求心を持っており、楽器に向かい、リペアマンとして音楽を楽しむ人の気持ちに寄り添える人物を求める。

カリキュラムポリシー

管楽器リペア科では、ディプロマポリシーに掲げる能力を身につけるため、教育課程として必要な科目を体系的に編成し、実践的なカリキュラムにより授業を行う。
1. 専門的な工具の使用方法を理解し、正確な取り扱いを学ぶ。
2. 木管楽器および金管楽器の修理・調整・検品技術を学ぶ。
3. 楽器の構造やキイ・メカニズムを理解し、楽器の特性を学ぶ。
4. 演奏体験から楽譜や音楽用語を理解し、音楽教養を深め奏者視点も学ぶ。
5. 社会人としての人間力や常識を備えた技術者として、業界で活躍するための術を学ぶ。

ディプロマポリシー

管楽器リペア科では、学則の規定に則り、所定の課程を修了し必要単位を修得した上で、以下のような能力を備えた学生に対して、卒業の認定及び専門士の称号を授与する。
1. 専門的な工具の使用方法を学び、正確な取り扱いが身についている。
2. 木管楽器および金管楽器の修理・調整・検品技術が身についている。
3. 楽器の構造やキイ・メカニズムを理解し、楽器の特性が身についている。
4. 演奏体験から楽譜や音楽用語を理解し、音楽的教養を深め奏者視点が身についている。
5. 社会人としての人間力や常識を備えた技術者として、業界で活躍できる能力が身についている。

1年次

前期

後期

到達目標

管楽器及び打楽器の安全な取り扱いや、部分的な修理をする知識と技術が身についている。

前期

後期

到達目標

楽器の状態を点検・診断することで問題の原因を正確に特定し、最適な修理方法を見出す力が身についている。

2年次

前期

到達目標

Advance
より複雑な修理に対応する発展的な技術力と問題解決力が身についている。
Expansive
豊富な商品知識とともにパソコンスキルや営業力、販売力が身についている。

技術系(Advance)と営業系(Expansive)のいずれかのコースを選択

基礎技術

木管修理 基礎 ● フルート修理 ● クラリネット修理 ● サクソフォン修理

木管総合修理 基礎

金管修理 基礎 ● ホルン修理 ● トランペット修理 ● トロンボーン修理

金管総合修理 基礎

木管修理理論 基礎

金管修理理論 基礎

商品知識 基礎

打楽器メンテナンス演習 基礎

ビジネスコミュニケーション

吹奏楽総合研究

楽器演奏 ● フルート

楽器構成論 基礎

木管修理 応用

木管総合修理 応用

金管修理 応用

木管修理理論 応用

金管修理理論 応用

商品知識 応用

楽器構成論 応用

打楽器メンテナンス演習 応用

音楽史

楽器演奏 ● サクソフォン

Advance (技術系選択コース)

木管修理 発展

- 木管修理
- 木管総合修理
- 木管修理理論

金管修理 発展

- 金管修理
- 金管総合修理
- 金管修理理論

Expansive (営業系選択コース)

楽器周辺小物知識

打楽器メンテナンス演習 応用

総合リペア

営業力強化

パーソナルコンピュータスキル

【任意選択科目】ソルフェージュ基礎

インター

科目名

この科の到達目標

基礎技術

修理に使用する工具の名称、基本的な使用法が身についている。加えて、ハンダの性質を踏まえ、基本的なハンダ付けの技術が身についている。

木管修理 基礎・応用

管体の名称と役割、楽器の扱い方や工具の使用法が身についている。加えて、カッピングとタンボの特性、フィラーや調整紙の使用法を理解し、理想的なタンボの組み込みとバランス調整技術が身についている。

木管総合修理 基礎・応用

各部品や複雑な機構も理解し、修理や調整だけではなく吹奏感も向上させる技術が身についている。加えて、的確なクリーニング法により、楽器を美しく仕上げる技術が身についている。

木管修理理論 基礎・応用

工具を的確に選定し、楽器を効果的に修復する知識を身につけ、楽器に問題が発生した場合には具体的な故障箇所を特定する判断力が身についている。

金管修理 基礎・応用

管体の名称と役割、楽器の扱い方や工具の使用法が身についている。加えて、動作不良原因を的確に見つけ出し、修理や調整する技術が身についている。

金管総合修理 基礎・応用

各部品や複雑な機構も理解し、修理や調整だけではなく吹奏感も向上させる技術が身についている。加えて、的確なクリーニング法により、楽器を美しく仕上げる技術が身についている。

金管修理理論 基礎・応用

工具を的確に選定し、楽器を効果的に修復する知識を身につけ、楽器に問題が発生した場合には具体的な故障箇所を特定する判断力が身についている。

楽器構成論 基礎・応用

音の発生原理やメカニズムの知識が身についている。加えて、楽器の歴史、構造、種類や主な演奏家に対する深い知識が身についている。

商品知識 基礎・応用

店舗において必要とされる専門的な商品知識で、消費者に対してアドバイスまたはサポートする力が身についている。

打楽器メンテナンス 演習 基礎

打楽器の扱い方やメンテナンス方法が身についている。

ビジネス コミュニケーション

学びに向かう力や人間性などを備え、あらゆるビジネスシーンに適応するコミュニケーションスキルやビジネスマナーが身についている。

ビジネス基礎

「経済」「流通」「企業」を手掛かりに今日のビジネス活動の特徴を理解し、広い視野で社会を捉える基礎が身についている。

吹奏楽総合研究

吹奏楽の変遷、その文化的背景を理解し、楽曲分析法や音楽理論に基づいた演奏技術力を向上させるための知識が身についている。

音楽史

古典から近現代までの音楽史を理解し、代表的な作曲家やその作品に対する深い知識が身についている。

楽器演奏

フルート、クラリネット、サクソフォンの特性や音色を把握し、修理後の調整確認する試奏力が身についている。

【任意選択科目】ソルフェージュ基礎

聴覚トレーニングにより、楽器修理後の音やその音色の変化を聞き分ける力が身についている。

インター

企業などで実施訓練を行い、就職後に必要とされる実践力が身についている。加えて、仕事や企業に対する理解を深め、自己の適性を把握する力が身についている。

2年次後期 Advance(技術系選択コース)科目

木管修理 発展

フルート、クラリネット、サクソフォンの木管3種において、実践に裏付けられた修理理論と即戦力として期待される技術が身についている。

金管修理 発展

ホルン、トランペット、トロンボーンの金管3種において、実践に裏付けられた修理理論と即戦力として期待される技術が身についている。

2年次後期 Expansive(営業系選択コース)科目

楽器周辺 小物知識

メンテナンス用品、マウスピースやリード、ミュートの最新情報を網羅し、消費者に対して専門的なアドバイスや的確な使用方法を提供する知識が身についている。

打楽器 メンテナンス 演習 応用

楽器に問題が発生した場合には具体的な故障箇所を特定する判断力が身についている。加えて、適切な処置を行う技術が身についている。

総合リペア

工具を的確に選定し、楽器を効果的に修復する知識を身につけ、楽器に問題が発生した場合には具体的な故障箇所を特定する判断力が身についている。

営業力強化

営業活動における基本的な知識、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力が身についている。

パーソナル コンピュータ スキル

パーソナルコンピューターの基本的な操作が身についている。加えて、iPad用アプリを活用した販促活動(チラシ作成、SNSなど)の知識が身についている。

ギタークラフト・リペア科 [2年制]

アドミッションポリシー

ギタークラフト・リペア科では、本校校訓「一技至誠」の精神を重要視し、実現のためにはひたむきな努力を惜しまない意欲的な人物を求める。音楽・楽器への情熱があり、音楽文化とその歴史、楽器の特性に強い関心と探求心を持っており、ものづくりが好きでギターやベースを製作したいという強い気持ちがある人物を求める。

カリキュラムポリシー

ギタークラフト・リペア科では、ディプロマポリシーに掲げる能力を身につけるため、教育課程として必要な科目を体系的に編成し、実践的な教育プログラムにより授業を行う。

- 1.エレキギター/ベースの企画、設計、製作技術を学ぶ。
- 2.アコースティックギターの企画、設計、製作技術を学ぶ。
- 3.多様な仕様のギターやベースの調整、メンテナンスの技術を学ぶ。
- 4.ギター関連商品の知識や業界のビジネス知識を学ぶ。
- 5.ギターの歴史背景などの音楽文化の知識を学ぶ。
- 6.社会人としての人間力や常識を備えた技術者として、業界で活躍するための術を学ぶ。

ディプロマポリシー

ギタークラフト・リペア科では、学則の規定に則して、所定の課程を修了し必要単位を修得した上で、以下のような能力を備えた学生に対して、卒業の認定及び専門士の称号を授与する。

- 1.エレキギター/ベースの企画、設計、製作技術が身についている。
- 2.アコースティックギターの企画、設計、製作技術が身についている。
- 3.多様な仕様のギターやベースの調整、メンテナンスの技術が身についている。
- 4.ギター関連商品の知識や業界のビジネス知識が身についている。
- 5.ギターの歴史背景などの音楽文化の知識が身についている。
- 6.社会人としての人間力や常識を備えた技術者として、業界で活躍する能力が身についている。

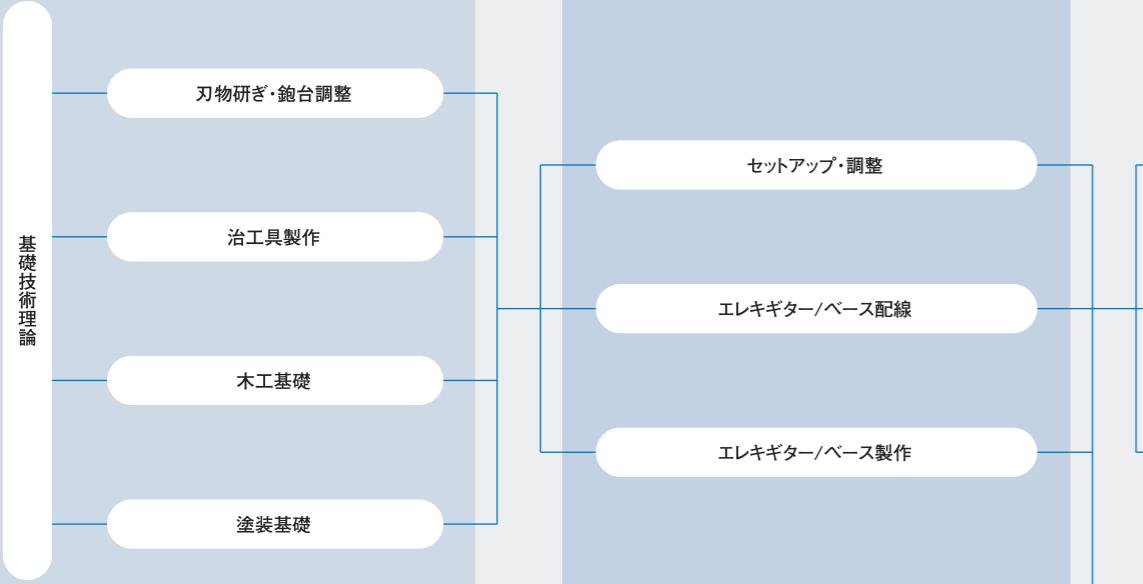
1年次

前期

後期

到達目標

エレキギター/ベースの構造や特徴を理解した上で、製作に必要な基礎知識・技術が身についている。
軽音楽関連の知識だけでなく、一般的なビジネススキルの基本が身についている。



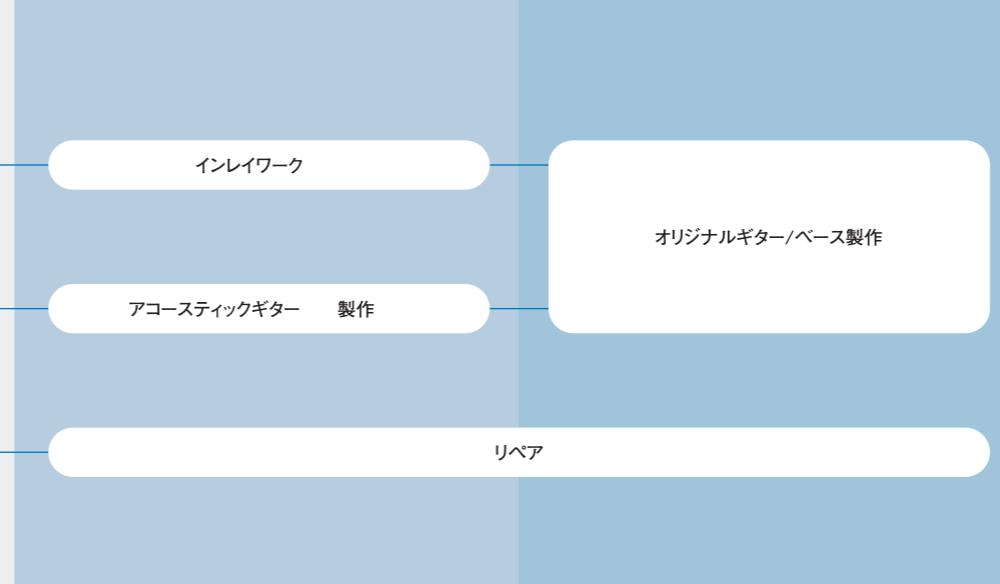
2年次

前期

後期

到達目標

ギターの構造や特徴を理解した上で、製作に必要な基礎知識・技術が身についている。
構造を理解した上で、基本的なリペアの技術が身についている。
構造を理解した上で、自分自身の企画/設計したギター/ベースを身についている。



科目名

この科の到達目標

科目名	この科の到達目標
基礎技術理論	製作に必要な道具や工具の使用方法、専用工具の製作方法、木材加工や塗装の基本的な知識が身についている。
刃物研ぎ・鉋台調整	刃物の種類、役割を理解し、木材加工における刃先の研磨、鉋台の調整技術が身についている。
治工具製作	サンディングパット、ネックサポート、フレット抜き用工具の製作技術が身についている。
木工基礎	ヤスリ、サンドペーパー、スクレーバー、鉋、小刀、電動工具を使用した基本的な木材加工の技術が身についている。
塗装基礎	スプレーガンを使用したウレタン塗装、ラッカーコートの鏡面仕上げの基本的な技術が身についている。
セットアップ・調整	ブリッジやサドルなど、異なる種類のギター/ベースの基本的な調整やクリーニングする力が身についている。
エレキギター/ベース配線	部品類やその役割を理解し、代表的な機種の配線する技術が身についている。
エレキギター/ベース製作	ボルトオン・ギター、ボルトオン・ベース、セットネックギター、スルーネックギターの製作工程に加え、精度の高い楽器を製作する技術が身についている。
インレイワーク	木部装飾の方法であるインレイワークの知識が身についている。加えて、素材の切削から埋め込み、接着、磨き上げの技術が身についている。
設計/CAD製図	ギター製作に必要な設計の知識が身についている。加えて、CADによるギターのボディ、ネック、パーツを階層別に製図する力が身についている。
アコースティックギター製作	製作に必要とされている手順、注意点、専用治具の使用方法が身についている。加えて、精度の高い楽器を製作する技術が身についている。
オリジナルギター/ベース製作	個性的なアイデアや創造性が身についている。加えて、アイデアを企画・設計に落とし、精度の高い楽器を製作する技術が身についている。
リペア	フレット交換、ナット交換、ネック調整、塗装修理、ネック修正などの頻度の高いリペア技術が身についている。
構成概論	部品や木材、塗料、ギターの構造の変遷についての深い知識が身についている。
楽器知識	ザックスの楽器5分類をもとに、楽器の名称と特徴を理解し、歴史的な背景とともに楽器の変遷などの教養が身についている。
演奏	スケールやコードなどの理論に裏付けられた演奏力が身についている。
業界ビジネス	軽音楽関連の企業情報、商品の流通、業態についての幅広い知識が身についている。
商品知識	ギター本体や代表機種だけでなく、軽音楽関連の周辺機器の仕様、特徴などの知識が身についている。
ビジネスコミュニケーション	学びに向かう力や人間性などを備え、あらゆるビジネスシーンに適応するコミュニケーションスキルやビジネスマナーが身についている。
ビジネス基礎	「経済」「流通」「企業」を手掛かりに今日のビジネス活動の特徴を理解し、広い視野で社会を捉える基礎が身についている。
インターン	企業などで実施訓練を行い、就職後に必要とされる実践力が身についている。加えて、仕事や企業に対する理解を深め、自己の適性を把握する力が身についている。